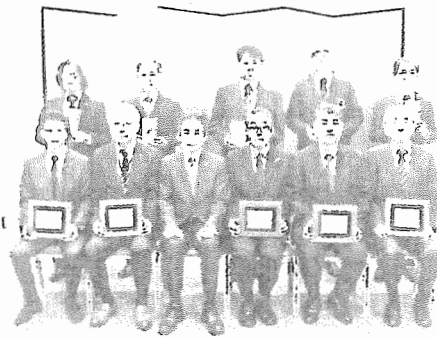


日測協 公共測量品質管理優秀賞

道内5社に晴れの榮譽

基準点、地図作成部門で

日本測量協会（清水英範会長）の第22回公共測量品質管理優秀賞に輝いた道内5社に対する表彰式が25日、札幌東急REIホテルで執り行われた。写真。



村上真幸副会長が受賞各社の代表者に表彰盾を手渡し、優れた測量成果をたたえた。同賞は2005年、「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品

確法）」の施行を機に創設されたもので、今回が22回目。全国で基準点測量部門1482社から26社、地図作成部門424社から10社の計36社が受賞した。北海道地区からは、基準点測

量部門で㈱北開測地（深川、立花貴男社長）、やまざきコンサルタント（㈱旭川、山崎俊彦社長）、新和測量（新ひだか、福田今日児社長）、東邦コンサルタント（釧路市、小松雄次社長）が受賞。地図作成部門では、㈱シン技術コンサル（札幌、重清祐之社長）が栄に浴した。

北開測地が2年連続で5回目、やまざきコンサルタントが5回目、東邦コンサルタントが2回目、シン技術コンサルが4回目、新和測量は初受賞。

表彰式では、はじめに村上副会長があいさつ。「公共工事の一番上流部に当たるのが測量。その重要性が社会にしっかりと認識されており、品質の確保が強く求められている」とした上で「この受賞を機に、品質

の確保に向け一層業務に精励してほしい」と期待を寄せた。

引き続き、受賞各社の代表者に記念の盾と副賞を授

与。たゆまぬ努力と優れた技術力をたたえた。講評した同協会北海道支部の小枝登技術センター長は「全国的にレベルが上が

り、品質が良くなっている。今回の受賞は、ベテランと若手がタッグを組み、会社一丸となって取り組んでいる成果だと思う。今後

もさらなる品質向上に向け努力を重ねてほしい」と要請した。